



今年度、本校では「明るく、元気で、生きる力を持った児童生徒を育む『体育の授業』～全ての子どもが「わかる・できる・楽しい」授業づくり～をテーマに研究を行っています。

各学部の「朝の運動」や「体育」の授業について、「缶ぽっくりができるようになるには？」といった具体的な指導法や、「運動量や活動量を増やすには？」といった授業の組み立て方などについて、ポイントを絞って学部を超えてアイデアを出し合い、次の授業にすぐに生かせるような授業改善に職員全体で取り組んでいます。



神奈川県立総合教育センター指導主事の山田良寛先生には、校内研修会の講師として、授業づくりに向けた新学習指導要領のポイントをわかりやすくお話いただいたり、何度も学校に足を運んでいただき、授業を参観して具体的なアドバイスをいただいたりしました。

「社会に開かれた教育課程」とは？「主体的・対話的で深い学び」とは？等ポイントとなるワードを皆で確認しながら、本人参加の視点で日々の授業を組み立てています。その実践の一部をご覧いただきたく 12月14日（金）には、「公開授業研究会」を予定しております。



また、「社会に開かれた教育課程」の一環として、本校では音楽や図工・美術、生活単元等の授業において、ゲストティーチャーの活用を積極的に行っています。今年はこれまでに14組の方々が来校され、本物のもつ迫力や素晴らしさを体験する機会をいただきました。今後も地域と連携した教育活動の推進に、さらに努めて参ります。

